

単元名 **これからの食料生産とわたしたち**

こぞくら -石川県-



地場産物の説明

日本列島のほぼ真ん中に位置する石川県では、国内で栽培できるほとんどの野菜を生産することができる。最近では、地元生産者が野菜の作付面積を広げるなどして、積極的に安全・安心な食材を作り、学校給食に納品している。また、海の幸にも恵まれ、魚介類も豊富である。ぶりの稚魚である「こぞくら」は、出世魚として重宝がられ、「煮付け」「焼き物」などで石川県の郷土料理として親しまれている。

(出典：石川県・健やかな石川の食協議会 発行リーフレット)

献立例

梅ちりごはん、牛乳、こぞくらの西京焼き、五目煮豆、じゃがいもの味噌汁

1人当たりの栄養量 (小学校)

エネルギー	654kcal
たんぱく質	27.4g
脂質	16.2g
カルシウム	328mg
鉄	3.1mg
ビタミンA	294 μ gRE
ビタミンB ₁	0.62mg
ビタミンB ₂	0.58mg
ビタミンC	19mg
食物繊維	5.9g
食塩	2.5g
マグネシウム	112mg
亜鉛	3mg



給食の時間の指導 (食文化)

今日の給食は、たくさんの地場産物がはいっています。こぞくら、じゃがいも、玉ねぎ、大豆は七尾市内でとれたものを調理しました。「こぞくら」は、ぶりの子どもで、ぶりは「出世魚」と呼ばれ、成長する過程で次々と名前が変わっていきます。しかも、その呼び名は地域によっても異なります。石川県では、こぞくら→ふくらぎ→がんど→ぶりといった順に変わっていきます。地元の旬の味を味わって食べましょう。

(出典：七尾市教育委員会・地域に根ざした学校給食検討委員会発行 「学校給食で伝えようふるさとの味」)

小学校 第5学年 社会科学習指導（略）案

日時 平成21年 月 日 第 校時

対象 5年 組 名

指導者 担任（T1）栄養教諭等（T2）

1 単元名 これからの食料生産とわたしたち

2 単元の目標

- (1) 自分の生活と食料生産との関わりをもとに、我が国の食料生産の現状や未来について関心をもち、我が国の食料生産の発展を願おうとする。（関心・意欲・態度）
- (2) 食料生産の抱える問題について、環境への影響、国際協調への観点、生産者と消費者などの観点をもとに、自分なりの考え方をもち。（思考・判断）
- (3) 食料生産の問題点を、農業就業者数、耕地面積、自給率の変化のグラフ等の資料から読み取り、調べる過程でわかったことや考えたことを、目的に応じた方法で表現する。（技能・表現）
- (4) 食料生産は国民生活を支えていることや、これからの食料生産には、就業者の減少、食品の安全性、環境保全、自給と輸入の関係など、様々な課題があることを理解する。（知識・理解）

3 本時（1/7 時）

- (1) 本時の目標
給食の食材の安全性の話題をもとに、我が国の食料生産のかかえる安全性や自給率の問題について、関心を高める。

〈食育の視点〉

食品の安全性・衛生について考えることができる。（食品を選択する能力）

- (2) 展開

配時分	主な学習内容	・留意点 ◆支援 □評価		備考
		T1	T2	
導入 5分	1 課題をつかむ。 ○ 献立表から「県内産」「地元産」について関心をもち、安全な食材を選ぶためにどうすればよいかきっかけをつかむ。	・ 献立の食材の欄に着目させ、地元の食材を多く使っている点に気付かせる。	・ 献立表を配布する。	献立の写真
深める 10分	2 給食について知る。 ○ 給食の食材をどのように選んでいるのか、栄養教諭から話を聞く。 ・ 味や栄養だけでなく、安全性についても考えてくれているんだなあ。 ・ 地域の農業発展にも貢献しているんだ。 ・ 自分の家の食事はどうなんだろう。	・ 私たちの食べているものは、どこから届くのだろう	・ 地元の食材を多く使っていることに気付かせ、安全性の確保として産地は近い方がよいということ、国産なら生産農家に直接安全性を確かめられるということをおさえる。 ◆ 価格の問題については児童から疑問や意見が出た場合には、消費者と生産者ともに努力していることとして簡潔に扱う。 ・ 食材がわかるような仕掛けをした天ぷらそばの写真を提示する。	地場産物の写真
10分	3 学び合う。 ○ グラフを見て、日本の食料の自給率について考える。 ・ 日本は低い。 ・ どんどん減っていきそうだ。	・ 他国と比べて低いこと、近年減り続けていることをおさえる。 ・ 天ぷらそばの資料を提示し、身の回りの食料も多くが外国からの輸入に頼っていることに気付かせる。		
15分	○ 栄養教諭の話、資料から食料の安全性や自給率について、自分の考えや予想を発表する。 ・ 外国の食材は農薬などが心配。 ・ 外国が売ってくれなくなったら物価が高くなる。 ・ このままでは日本の商品が売れなくなり生産者が減る。 ・ 外国との関係や環境が心配。	◆ 我が国の食料生産のかかえる安全性と自給率の問題について、関心を高めている。（関心・意欲・態度） 【ノート、発表】 ◆ 自分の考えや予想をノートに書かせてからグループで相談させた後、発表させる。 ◆ 安全性についての意見が出ない場合には、栄養教諭の国産にこだわる話を想起させる。 ・ T1・T2とも個別にまわり必要に応じて助言する。		
まとめ 5分	4 今後の学習課題をつくる。 ○ みんなの発表をもとに、食料生産についてこれからの学習課題をつかむ。 ・ 環境を大切にし、消費者や生産者を守るこれからの食料生産についてどのように進めていったらよいのか。	・ 発表をもとに全体で課題を設定する。	・ 日々の食事の食材への意識付けを図る。	

- (3) 評価

我が国の食料生産のかかえる安全性や自給率の問題について、興味をもって発表しているか。